

大日影トンネル

美しいアーチを描くトンネル開口部。その左隣には現在のトンネルがある。JR勝沼びじろ郷駅から徒歩5分。

山梨の経済や暮らしに革命をもたらした鉄道遺産

中央本線の開通に向け、5年の歳月をかけて整備された全長1、368メートルの大日影トンネルは、明治36（1903）年の八王子～甲府間の開通から平成9（1997）年の新トンネル貫通まで、鉄道トンネルとしてその役割を果たしてきた。

東京と山梨を結ぶ鉄道の開通は、ぶどうとワインの輸送に革命をもたらし、れんがを使ったトンネル建設技術はワイン貯蔵庫づくりにも応用されるなど、人々の暮らしと経済に大きな影響を与えた。

レールや待避所、距離標などが当時のまま残るトンネルは、貴重な鉄道遺産として整備され、遊歩道としてよみがえっている。

